

第12回 ドイツ・オーストリアエコバウ建築ツアー2008

| 日付               | 場所/ガイド  | プログラム  |
|------------------|---|--|
| 10/3(金)          |   | 成田・関空から出発～   |
| 4日(土)            | ウィーン/Motzl<br><br>/Dipi-Chem.   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ウィーンのエネギーハウス 省エネルギーオフィスのコンサルタント</li> <li>■Sargfabrik 参加型住宅</li> <li>■ミュージアム・クォーター</li> <li>■革新的な植物化学研究所</li> <li>■フンデルトワッサーハウス</li> </ul>  |
| 5日(日)<br>ウィーン泊   | Modling<br>ツィアースドルフ/Amtsleiter<br>ウィーン/Georg kogler<br>ゲーセンドルフ/ヘルムート・ディブナー(建築家)<br>ウィーン     | <ul style="list-style-type: none"> <li>■オフィス&amp;国会(SOLAR 4 YOU,2006)</li> <li>■パッシブハウスの幼稚園(ヨハネス キースリンガー)</li> <li>■パッシブハウスの木造住宅(Arch,Untertrifaller,IBO(Bauphysik),2005-2006)</li> <li>■エコ住宅地(ヘルムート・ディブナー)</li> <li>■学生寮、映画館、オフィス、ショッピング</li> </ul> |
| 6日(月)<br>リンツ泊    | Steyr/アクセルニーレ(建築家)<br>リンツ/アクセルニーレ<br>/Pichling・Stadtteilburo SCP<br>Schwanenstadt/ギュンター・ラング | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ポツペ・プレハル設計事務所</li> <li>■サプラーホーフ再開発住宅地(ポツペプレハル設計事務所,2003-2005)</li> <li>■ソーラーの街 パッシブハウス住宅地</li> <li>■学校のリノベーション(PAUAT Architekten,Wels,2004-2007)</li> </ul>  |
| 7日(火)<br>ザルツブルグ泊 | エフェルディング/ホルガー・ケーニツヒ<br>ザルツブルグ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■バイオ農家</li> <li>■村の学校(Jens Peters, Gregor Hafner,2008)</li> <li>■グラントレップエルヴェワの住宅(ハレ1建築事務所 ハイנטツ・ラング,ゲルハルト・ザイラー,1998-1999)</li> <li>■旧市街</li> </ul>  |
| 8日(水)<br>ミュンヘン泊  | ミュンヘン グロン/ホルガーケーニツヒ<br>Poing/Klemens Dittrich<br>/クレメンス・ディートリッヒ                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>■グロン ヘルマンズドルフ 循環型農場(ヨアヒムエブレ,1994)</li> <li>■Poing 58棟の住宅展示場(58人の建築家)</li> <li>■BMW本社</li> <li>■ユダヤ教の礼拝堂</li> </ul>  |
| 9日(木)            | ミュンヘン/ヨアヒム ネーゲル<br>リーム/NEST<br>/ヨアヒム ネーゲル   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■NEST設計事務所(ヨアヒム ネーゲル,1999)</li> <li>■リーム地区のパッシブハウス(ヨアヒム ネーゲル,2002)</li> <li>■ゼロエネルギーハウス 2007-2008</li> <li>■ショッピング</li> </ul>   |
| 10日(金)<br>11日(土) |   | ドイツ～日本   |

日本人コーディネーター 石川 恒夫(前橋工科大学大学院准教授)

### ヴァインフリード・ブレンネ

タウトの自邸や集合住宅の修復建築家。1942年に生まれる。ヴッパータールで建築を学び、ベルリン工科大学を卒業。1978年、ピッツ-ブレンネ建築事務所を設立。1990年以來、自らの事務所を設立、都市計画、集合住宅、エコロジカル建築、記念建築や集合住宅とくにブルーノ・タウトの建築の修復に携わる。1990～1992年、ベルリンTFHの非常勤講師を務める。彼の実現した修復建築には、ツェーレンドルフの林間の集合住宅、ブリッツ、ジーマンスシュタット、ヴァイツェ・シュタットの集合住宅、デッサウのムフェとシュレンマーのマイスター住宅(グロピウス、1925～1930年)などがある。プロジェクトでは、1929～1930年のハンネス・マイヤー設計のベルリン近郊ベルナウの連邦学校をベルリン商工会議所の寮にする改修計画がある。

### ブルーノ・タウト

1880年、ケーニヒスベルク生まれ。1938年にイスタンブールで死去。ケーニヒスベルクの工手学校で修練を積む。1913年、ライプツィヒの国際建築博覧会の鉄鋼館で注目を得る以前テオドル・フィッシャーやフランツ・ホフマンと仕事をした。その年アドルフ・ベーネやパウル・シェーアバルトに出会い、そのガラスの建築は、タウトの表現主義の建築に影響を与えた。その後、『アルプス建築』を出版(1919年)、多くの集合住宅を設計、建設。1932年、ドイツを去り、ロシア(1932～1933年)、日本(1933～1937年)を経て、トルコ(1937～1938年)に渡った。